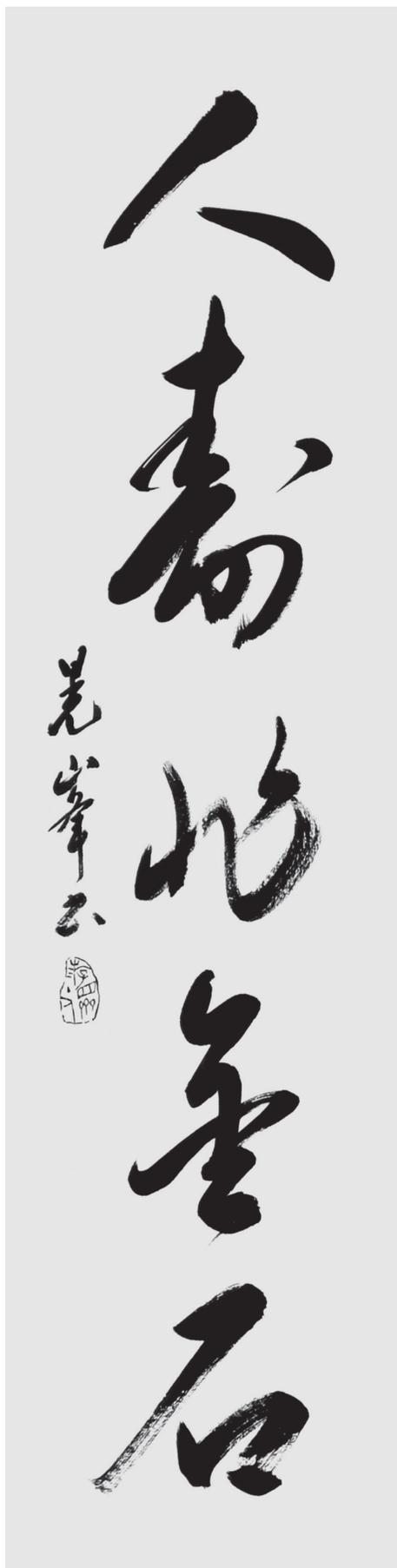


半切四分の一に書くⅡ (23)

締切り 十一月二十四日 (必着)



神谷 葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことです。その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×十七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕 人壽非金石 (古楽府)

〔大意〕 人の命は金石のように永遠に続くものではない。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤濁も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×十七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フェルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

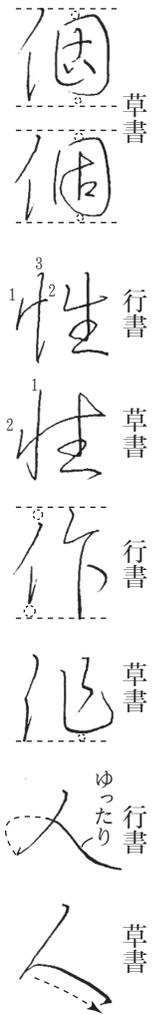
▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

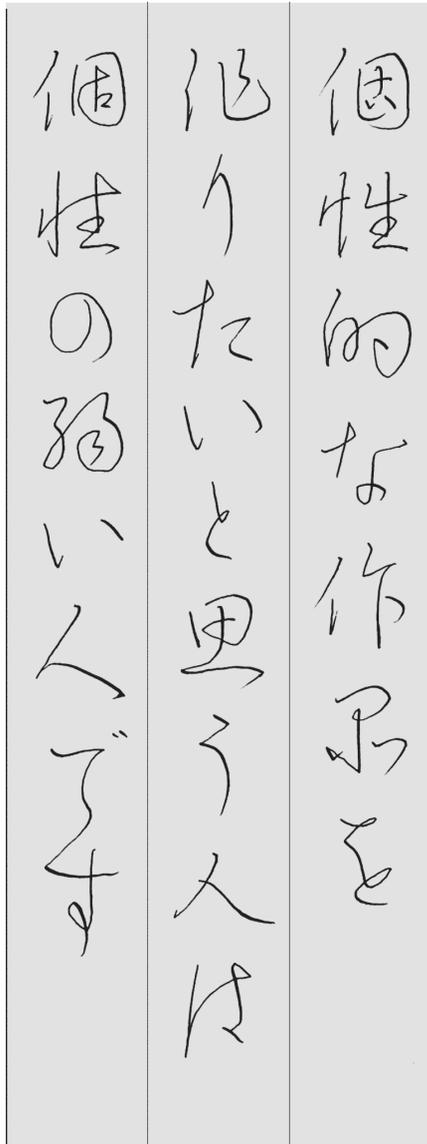
〔解説〕

〔読み〕 個性的な作品を 作りたいと思う人は 個性の弱い人です



◎字例の多い、または複数の字典を活用し、同字は変化させましょう。筆圧や遅速の変化で線質にメリハリを。

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

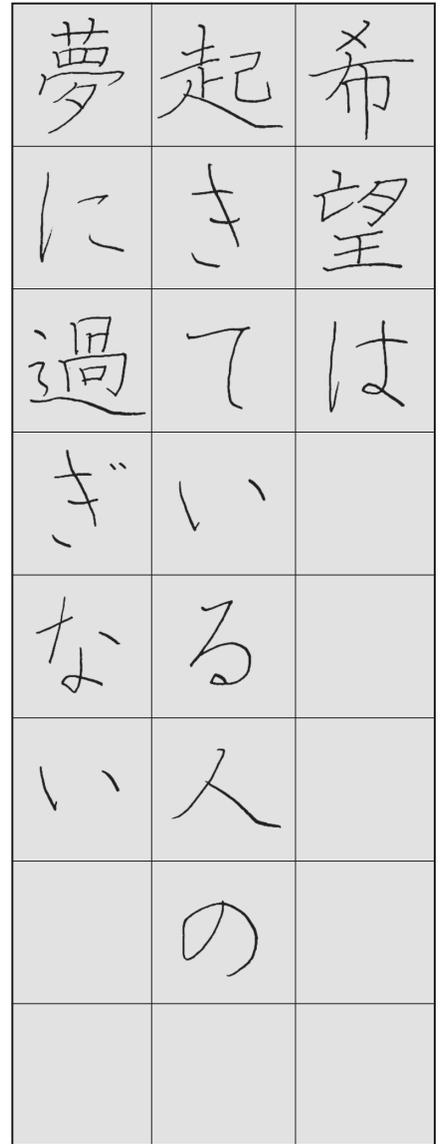
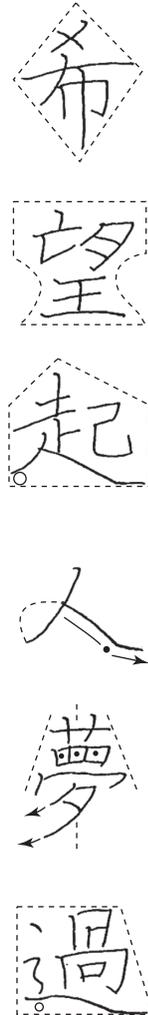


おくむら のぶ ゆき 書
奥村暢之

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大谷清城

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範 行草または草書
▼師範 行書

◆12月課題予告(楷書)
小利を顧みるは
則ち大利の残なり
韓非子

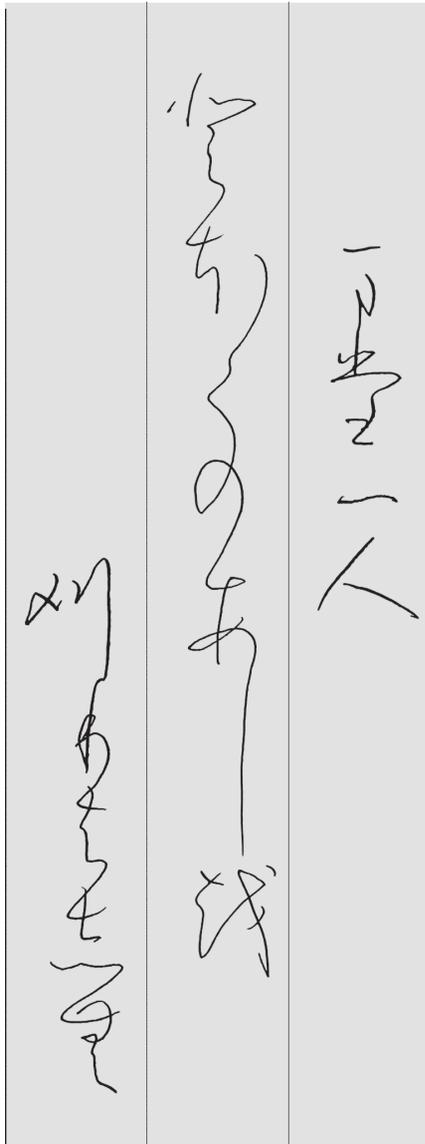
★個性的な：(書体 行草または草書)
山田洋次(一九三二)
映画監督・脚本家
個性的であるとは、競争をたくましく勝ち抜いて目立つことではなく、かく弱く傷つきやすい人たちを、あらゆる暴力からかばい、その命を深くいとおしみ、守り抜くところに人の個性とその強靱さが、おのずと表れると映画監督は言っています。

◆12月課題予告(行書)
小忍のばさる時は
則ち大謀を乱る
論語

★希望は：(書体 楷書)
西洋のことわざ
アリストテレスの言葉に由来しているとされています。
現実には厳しく将来に希望を持つとしても、具体性は乏しく夢のように、はかないものです。
しかし、人間はたとえ絶望の淵に立たされたとしても、ひそかに希望を抱くことが大切なのではないでしょうか。

準初段から六段まで

新入から1級まで

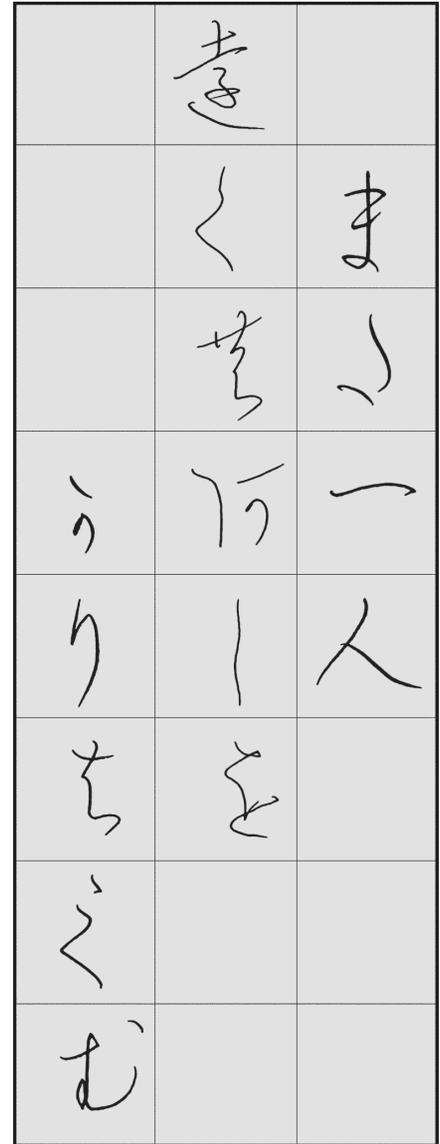


万堂
また一人遠くの蘆を刈りはじむ

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



また一人遠くの蘆を刈りはじむ

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

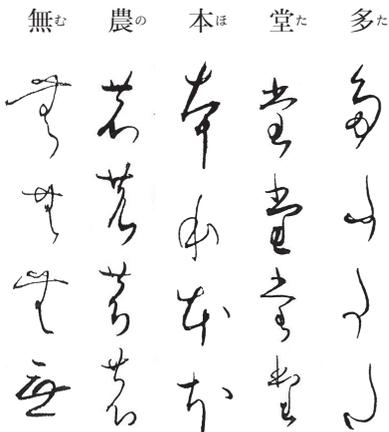
▷用紙=本会級位用紙

また一人遠くの蘆を刈りはじむ
(高野素十)

〔句解〕二三人が蘆を刈っている。ひろびろとした蘆原である。蘆刈りというさびしい、ものさびた仕事はそれでもぼつぼつ進んでいる。と、はるか遠くの方で蘆叢の一箇所が動き始め、刈り倒されていく。人影も一人たしかに見える。また一人蘆刈りが増えたのである。

〔鑑賞〕高浜虚子が『ホトトギス』の「雑詠句評会」で「遠くの芦がゆれはじめ、人が刈ってゐるのであらうといふことが想像がつく。淋しい、枯れた淡い、空寂な光景の中に一点の動きを点じてゐるところに妙味がある。」といっている。

〔古筆参考〕



〔解説〕「あ」の連綿は、「あ」の最後の左はらいを欠落させて、中心より右側の、「し」へ続けていく。

◆12月課題予告

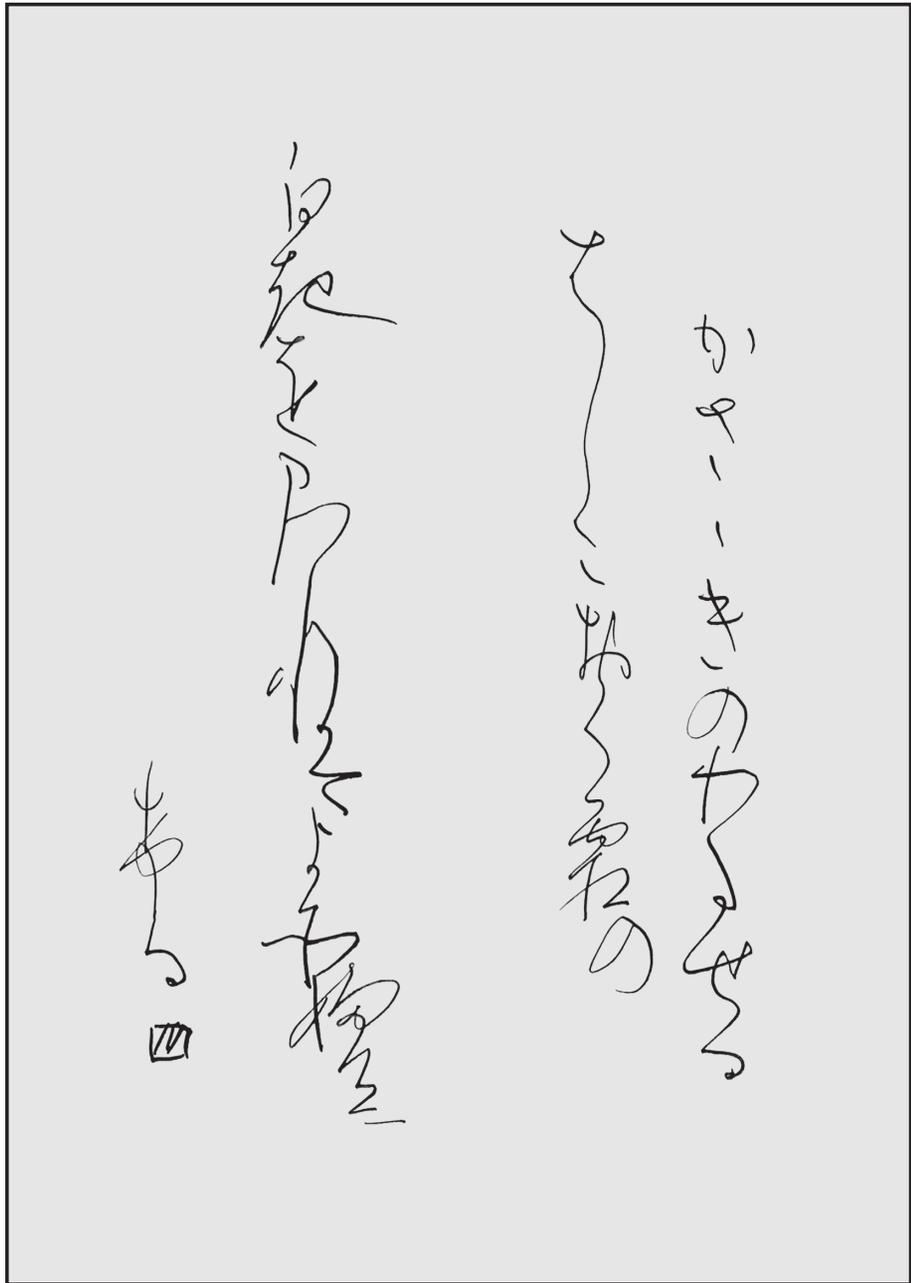
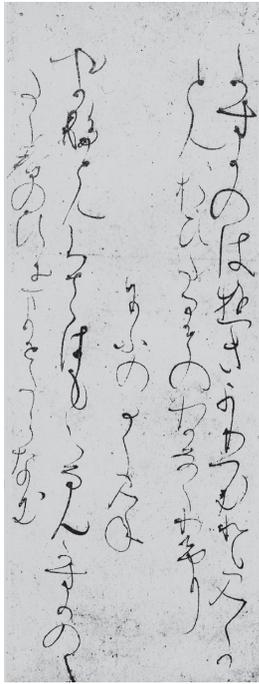
鳥どもも寝入ってゐるか余吾の海
(斎部路通)

締切り 十一月二十四日(必着)

築瀬舟香書

〔古筆参考〕

香紙切



可寸可寸
かすがのはゆきよりつむとみしか
可寸可寸
どんおひたるもの(は脱力)わかなりけり
可寸可寸
にふのたぐみね
可寸可寸
やかずとんくさはもえなんかすがの
可寸可寸
たぐ春のひにまかせたらなむ

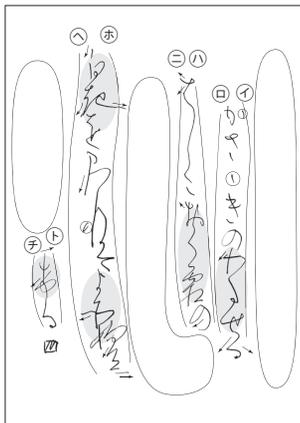
かささぎの渡せる橋におく霜の
白きを見れば夜ぞふけにける

〔歌意〕かささぎが渡した天の川の橋に置いた霜が真っ白なのを見ると、夜が更けたなあと感じられる。

〔出典〕新古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、①と⑪、①と⑫、①と⑬、①と⑭、①と⑮、①と⑯、①と⑰、①と⑱、①と⑲、①と⑳、①と㉑、①と㉒、①と㉓、①と㉔、①と㉕、①と㉖、①と㉗、①と㉘、①と㉙、①と㉚、①と㉛、①と㉜、①と㉝、①と㉞、①と㉟、①と㊱、①と㊲、①と㊳、①と㊴、①と㊵、①と㊶、①と㊷、①と㊸、①と㊹、①と㊺、①と㊻、①と㊼、①と㊽、①と㊾、①と㊿
- 余白大切。
- ∟の方向大切と○の位置大切。
- 密の動き大切。

◆12月課題予告

あかねさす朝日の里の日影草
豊のあかりのかざしなるべし

締切り 11月24日(必着)

木の葉が舞い散り、過ぎ行く秋が惜しまれるこの頃です。先月の紅葉狩りの写真が出来ましたので自慢の数枚を送ります。隠れた撮影スポットのご案内のお陰で実力以上に美しく撮れました。

木の葉が舞い散り、過ぎ行く秋が惜しまれるこの頃です。先月の紅葉狩りの写真が出来ましたので自慢の数枚を送ります。隠れた撮影スポットのご案内のお陰で実力以上に美しく撮れました。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題はがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

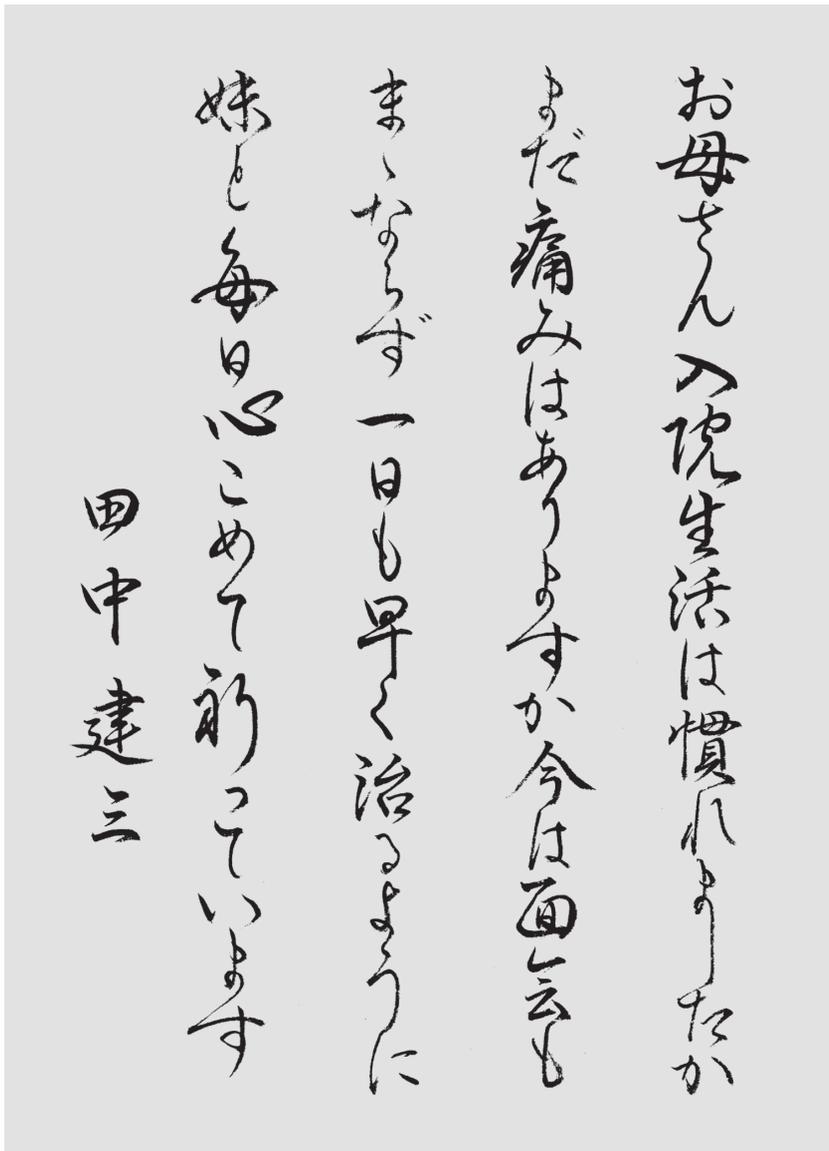
後鳥羽上皇が菊を好んだことから皇室の紋章として使われ始めた。

富山県氷見市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

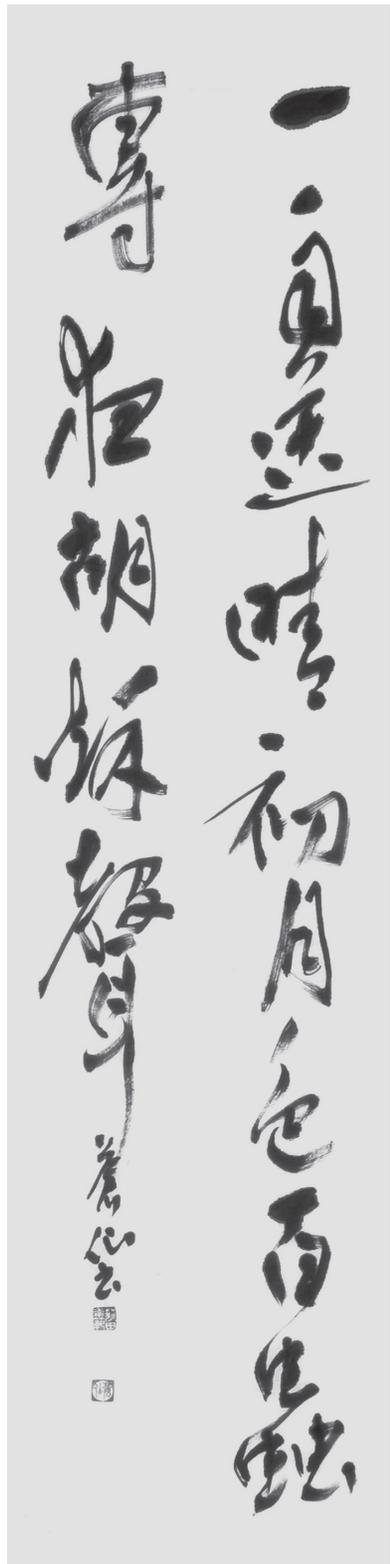
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 十一月二十四日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

荻田蒼仙書

一雨送晴初月色

百虫専夜胡秋聲

黄潛

〔大意〕一雨のあと晴れて三日月が見える。多くの虫は夜に鳴き胡地の秋をいろどる。

初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕

書いたら師に批評を仰ぐ…もったもです。時には朱を使って自己添削してみると意外に効果があるかも。

お母さん入院生活は慣れましたか
まだ痛みはありますか 今は面会も
まくならず一日も早く治るように
妹と毎日心こめて祈っています

(ご自分の氏名)

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(楷書)

須田一葉書

天寒霜意新

〔解説〕

筆鋒の先端をつける
天

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
小 大
寒

霜

少し高く
とめ
意

右上がりに
新

天寒霜意新
〔大意〕寒い季節となり、いよいよ霜の降りる気配がする。

◎楷書について

『正書または真書』とも言う。点画をくずさない端正な書体である。

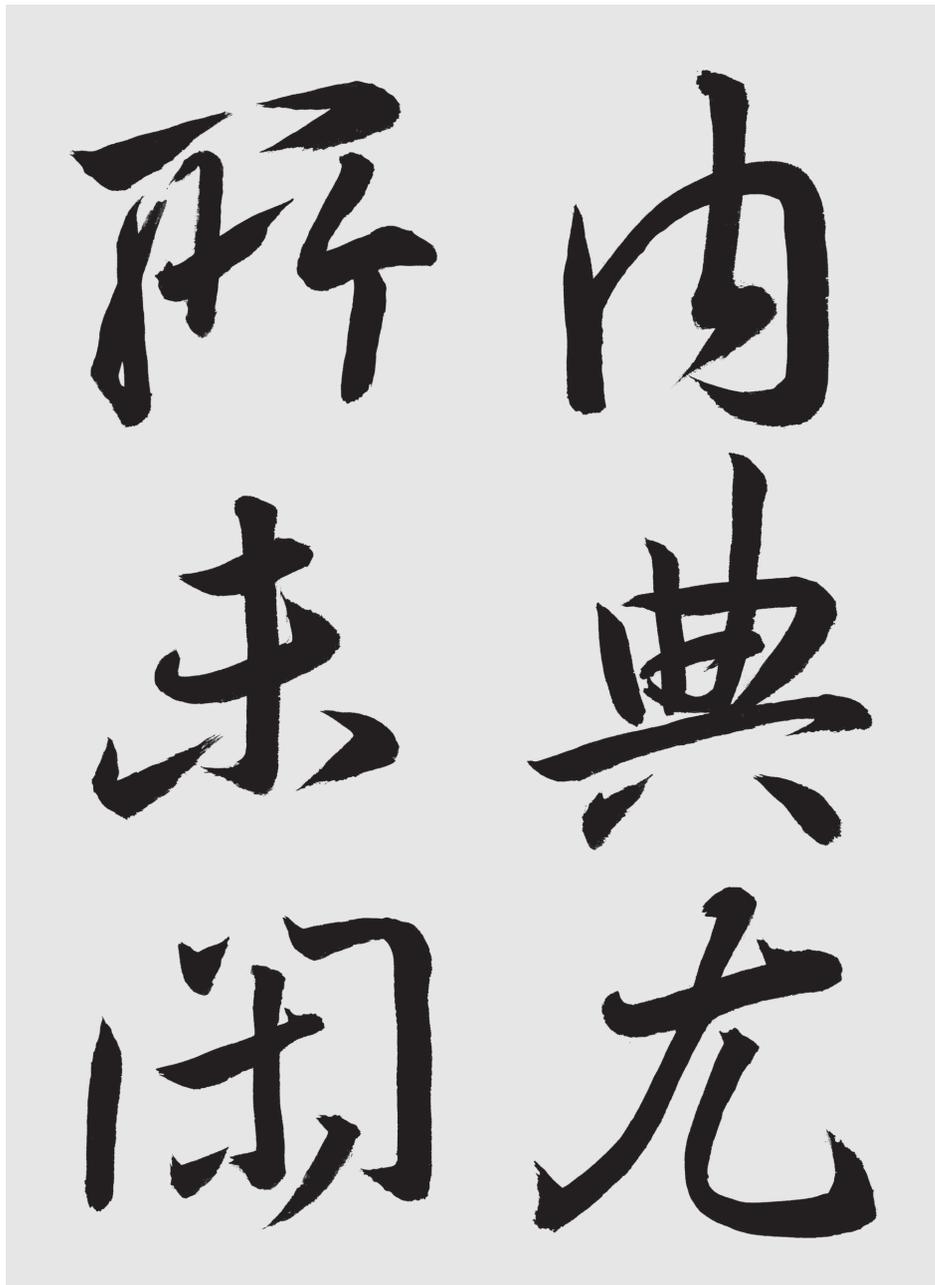
起筆は45度に入れ、一点一画を厳正に書くので行書より直線的な書体になります。

・文字は結体が良いと美しい字になるので線の長さや角度、位置に配慮します。一文字を一筆で書く(途中で墨をつけない)のが基本です。筆の下ろし方、墨のつけ方も重要です。縦画・横画・点・払い・はねなどの基本点画を繰り返ししっかり学んでおくと、字形も美しくまとまります。

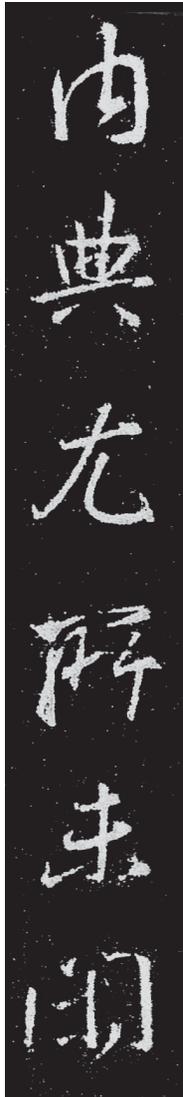
◆12月課題予告(行書)

皎夜千
樹寒

準初段から師範まで



奥村暢之臨



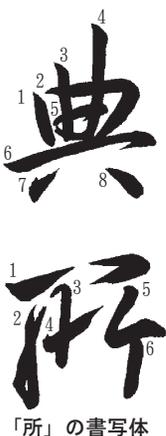
内
典
尤
所
未
閑

〔出典〕集字聖教序(六二三)
 〔筆者〕王羲之法書より集字
 〔読み〕内典に(至りては)尤も未だ
 だ閑わざる所なり。

〔解説〕この碑は、太宗皇帝の命により王羲之の真跡中より文字を集めたもので、弘福寺の僧懷仁が二十四年の歳月をかけ、大小を工夫したり、ない文字は偏と旁を組み合わせるなどして完成させた。

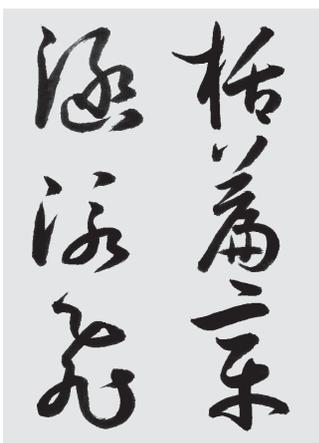
王羲之の真跡は現存していないが、最もそれに近いものであるとの信憑性は高く、古来から行書学習の最高峰として讃えられてきた。

ただこの碑は集字であるため、一字一字が孤立し気脈の貫通に欠ける面がある。自然な流れに配慮し、筆勢を出すことを心掛けたい。



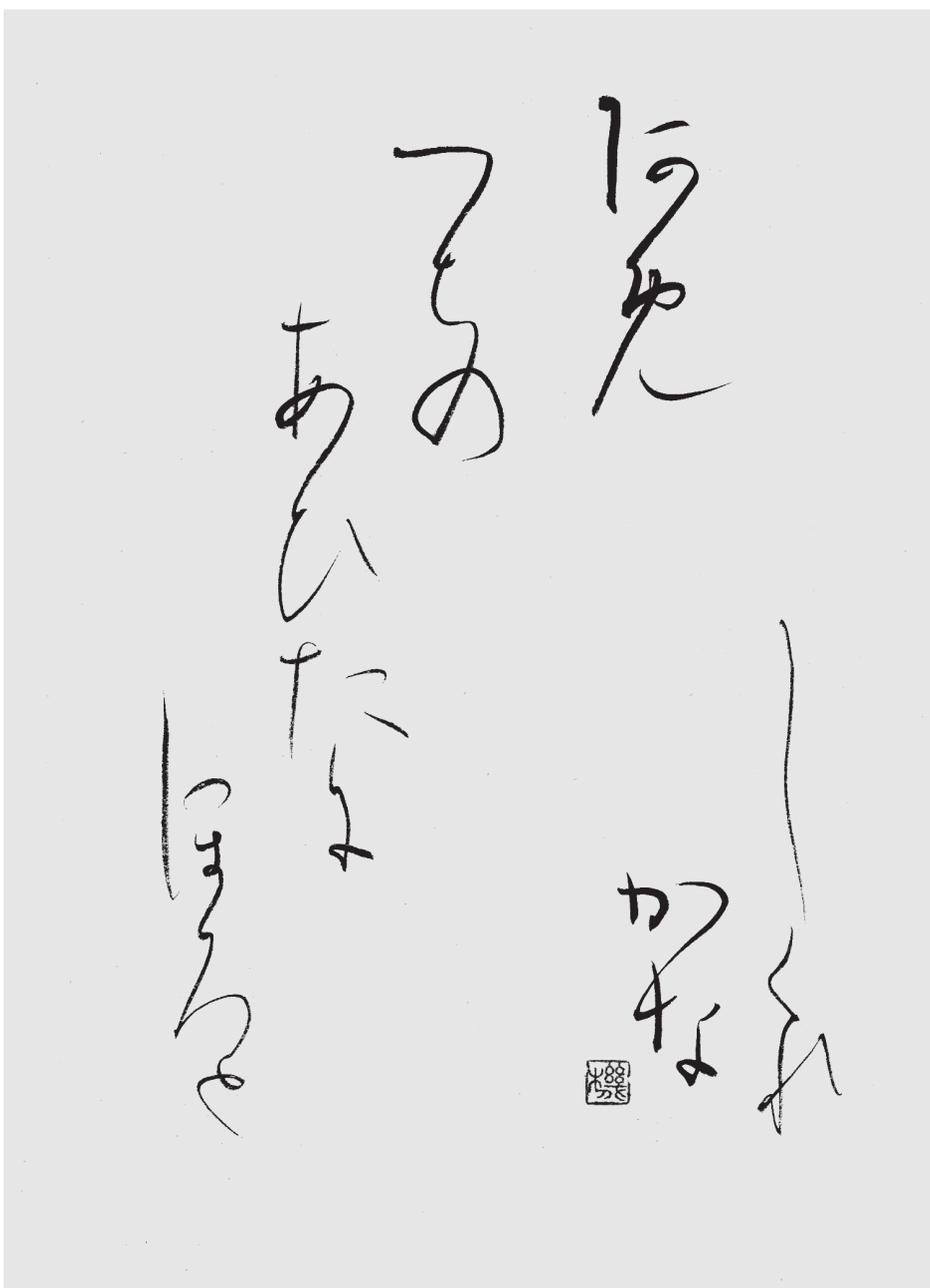
◇1はつなげて書いてよい

◆12月課題予告



新入から1級まで

浅井機山先生書



阿免あひだるの天地あひだるの間にほろと時雨しぐれかな

高浜虚子「六百句」

〔句意〕

地を濡らすほどもなく降る時雨のさまをとらえた句。その降りさまを甘露のようにとらえ、美しく華やいだものとなった。

◆12月課題予告(検定試験1級コース共通)

山鳩よみればまはりに雪がふる

〔解説〕

1行の字数が2、3、4、3、3、2というように、少ない字数で6行に構成されていますから、1行が書きやすいと思います。従って、ゆっくり丁寧に書いていけば、いい作品が出来上がるでしょう。

1行ずつ見ていきましょう。

「阿免」、いきなり変体仮名で書き出しています。元の漢字(字母)を字典で調べて書くようにすると、変体仮名を早く覚えることができます。「阿」が終わって「免」へ直線で連綿します。直線の連綿線はすっきりした姿になります。

「つちの」、平仮名の3字連綿です。画数が少ないのでこれもすっきりしています。右上から左下へ延びる直線は「阿免」のそれとは角度が若干違ってきます。同じ角度にならないようにするのが大切です。

「あひたると」「あ」から「ひ」への連綿線の角度も微妙に違ってきますから、ここまでの3行の連綿線の違いがそれぞれ存在を許しあうことになりません。なお、「ると」は細長くして上の大きな3字を軽く受けています。

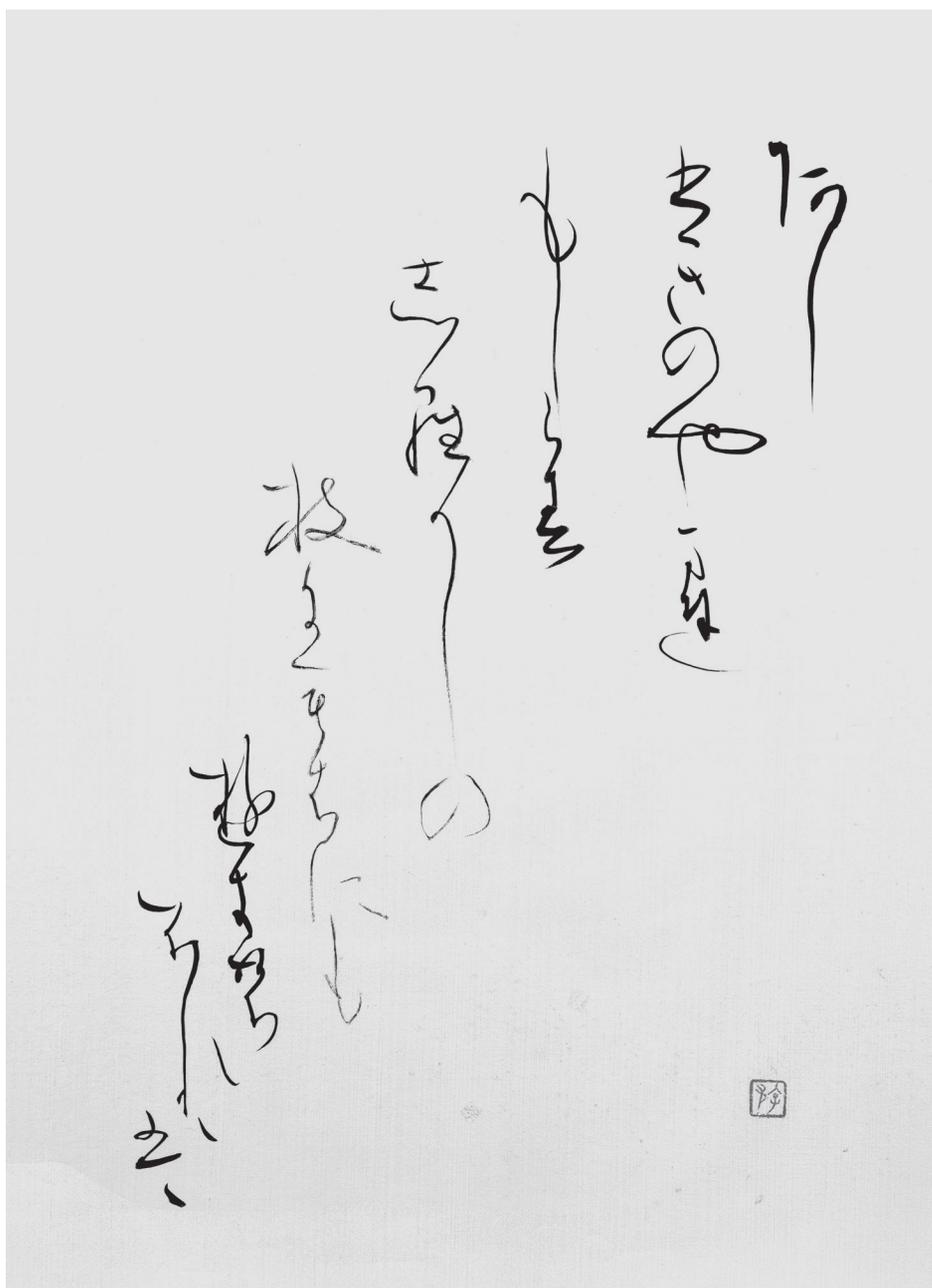
「ほると」「ほ」の第1画は長めに書いて前3行の大きさを受け、「阿」からの行頭をつなぐ放物線を描く位置に書いています。しかし、やや小さめにツクリを書いて「ると」につなぎます。

そして「返し書き」で

「しぐれ」「かな」「雅印」となります。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



阿^あしひ^ひきの^きの^の山^や路^ろも^も知^しら^らず^ず白^は樫^しの^の枝^えに^にも^も葉^はに^にも^も雪^ゆの^のふ^ふれ^れば^ば

〔歌意〕

山に分け入る路もどことわからないことだ。山では、白樫の枝にも一面に雪が降り積んでしまったので。

◆12月課題予告(検定試験三段コース以上共通)

落葉して庭は冬木のがらしの

夜もすがらなる月明りかな

「拾遺和歌集252」柿本人麿

〔解説〕

全体をながめてみると、第1行から各行の行頭をつないでいくと、放物線を描いたように書いていきます。左上の三角の余白と右下の大きな三角の余白が目に入ります。

さて、8行に書かれた字数をみましょう。2、6、4、5、6、3、3、1となります。行としては短い行の連続です。墨継ぎは6行目の「遊支農」の1回だけです。

1行目から順次見ていきましょう。「阿し」「阿」を書き終えたらズリズリしながら「し」へ移ったら勢いよく下の余白を目指します。

「悲きのや万遅」、横線の方向に注意しながら書き出しの「の」をゆったり回します。「や」は水平線に近い状態で引き、少し広めの幅を持ちます。「万遅」の最後の線は細く書いて余白に溶け込ませます。

「もしら春」、「し」がありますが前よりはゆっくり伸びやかに書き「春」を太くして引き縮めます。「志羅可しの」、「し」があり下半分を速く書いて3本の「し」に変化を作っておりあります。「の」は軽やかに余白に溶け込ませます。

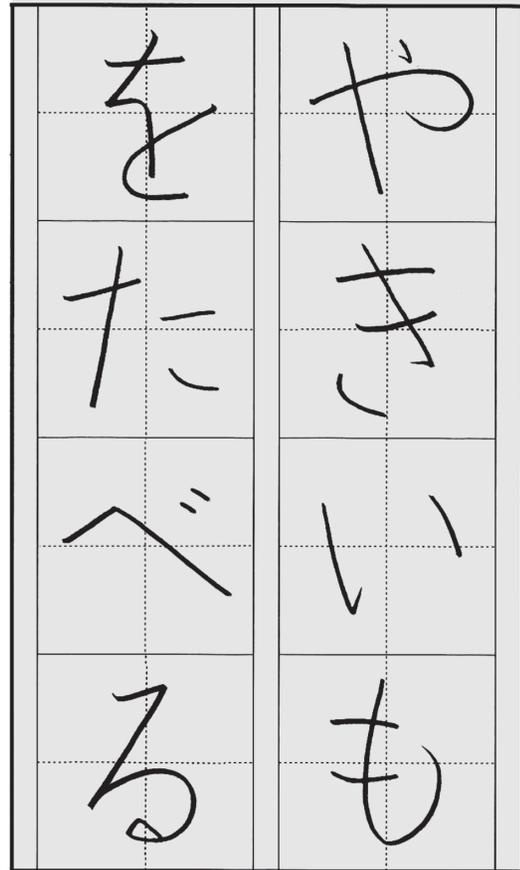
「枝尔毛者にも」、でいよいよ墨がなくなつてカスレを書きますが、慌てずおおらかに書きます。

「遊支農」、右全体を引き締めるように書き、

「不れ、」、は伸びやかに、

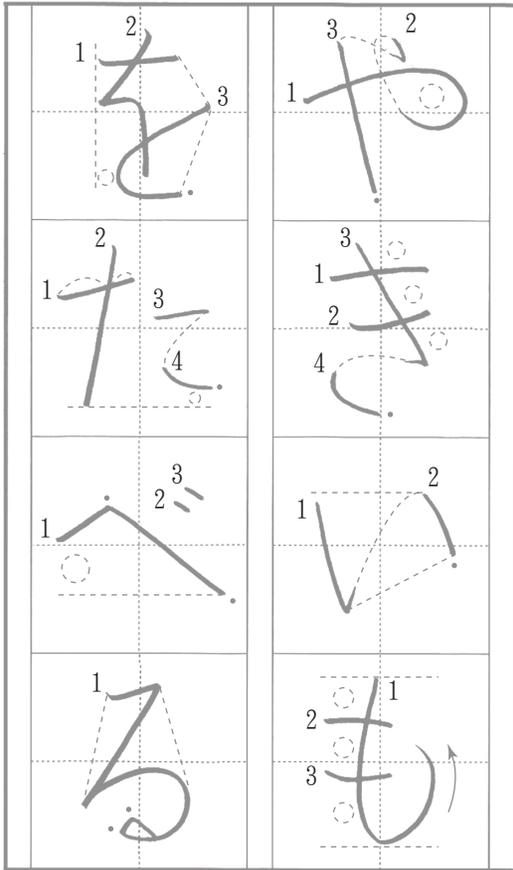
「盤」、でじっくり書き終えます。

よ
う
年



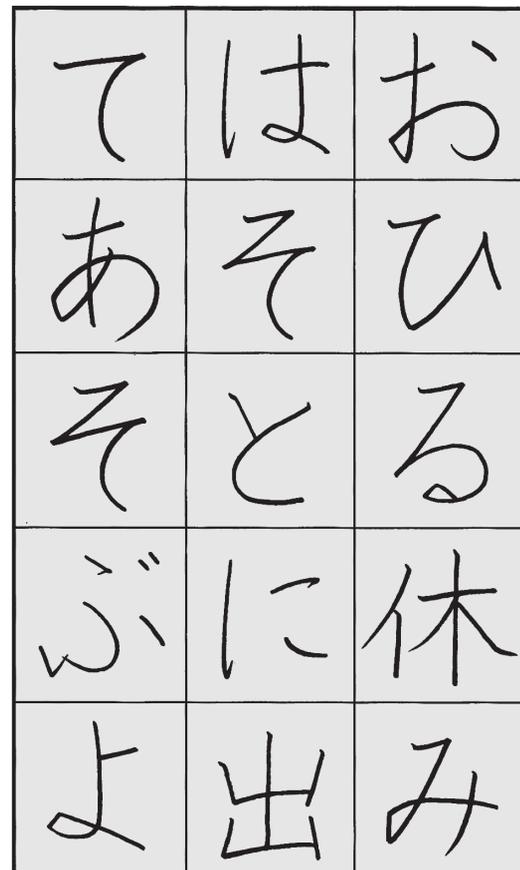
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかき)

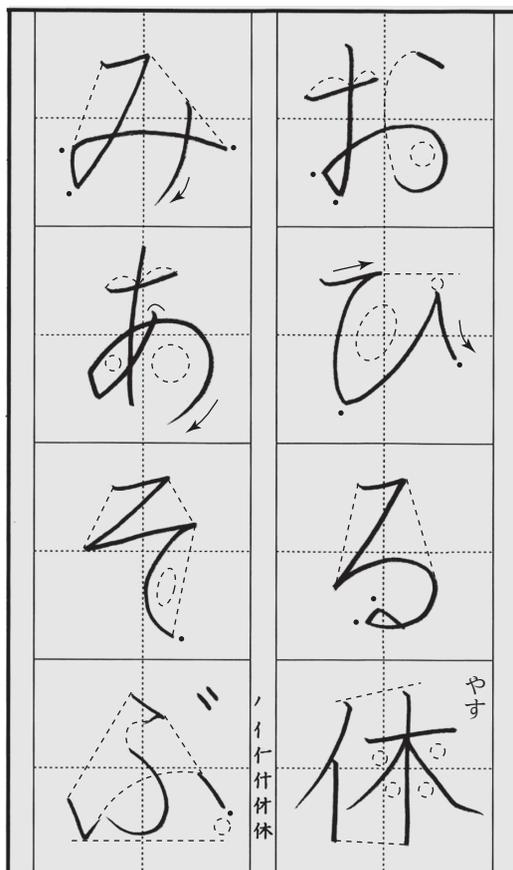
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準
初
段
以
上

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三
宅
容
玉
書

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

買	ね
い	ぎ
ま	一
す	本

か
イッ
ポ
一十才木本

新入〜1級

で	一	太
買	本	い
い	え	ね
ま	ら	ぎ
す	ん	を

小二年

準初段以上

皿	食
あ	べ
ら	た
う	後

た
食
あと
イ
イ

新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

を	自	食
あ	分	べ
ら	の	た
う	お	後
よ	皿	は

小三年

準初段以上

〈用具〉自由(黒色に限る)

ムニ夫夫参参	サン 参	お
フカカ加加	カ 加	まつ 祭
	し	り
	た	に

新入1級

に	わ	古
参	る	く
加	お	か
し	祭	ら
た	り	伝

小四年
準初段以上

小四年以上
おか
嶋
桂
川
書

一画面画面	ガ 画	ゆめ 夢
ノ日月月用	ヨウ 用	まち 街
紙紙紙紙紙	シ 紙	ソウ 想
		ゾウ 像

解説(よく見て習いましょう)

紙	想	夢
に	像	あ
え	し	る
が	画	街
く	用	を

小五年
(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具 自由(黒色に限る)〉

トク 特	わたし 私
シユウ 集	チュウ 注
キ 記	モク 目
ジ 事	エイ 映

解説(よく見て習いましょう)

事	画	私
に	が	の
な	特	注
つ	集	目
た	記	映

小六年

(全員)

つ	盾	文
け	箇	章
る	所	中
問	を	の
題	見	矛

中二・三年

(楷書)

気	に	一
実	室	時
施	内	間
す	の	ご
る	換	と

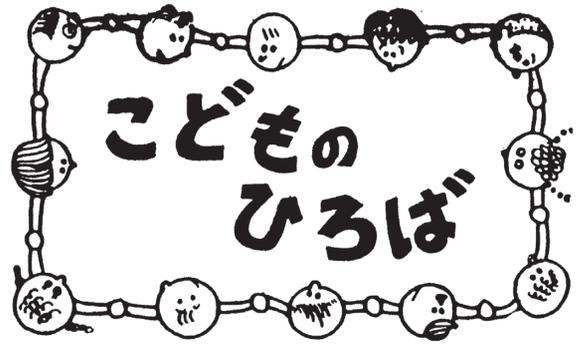
中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 さ さ き けい せん 佐々木 恵 泉 書

草 <small>くさ</small>	お	牛 <small>うし</small>	多 <small>おほ</small>	高 <small>こう</small>
を	い	た	く	原 <small>げん</small>
食 <small>た</small>	し	ち	の	で
べ	そ	が		は
る	う			
	に			

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 11月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 おお ほら けい えん 大 原 啓 園 書

ク	合 <small>がっ</small>	児 <small>じ</small>	文 <small>ぶん</small>	市 <small>し</small>
ラ	唱 <small>しょう</small>	童 <small>どう</small>	化 <small>か</small>	内 <small>ない</small>
ス	コ	の	ホ	に
で	ン	部 <small>ぶ</small>	ー	あ
参 <small>さん</small>	ク	の	ル	る
加 <small>か</small>	ー		で	
	ル			
	に			

◎お手本はつけペン使用



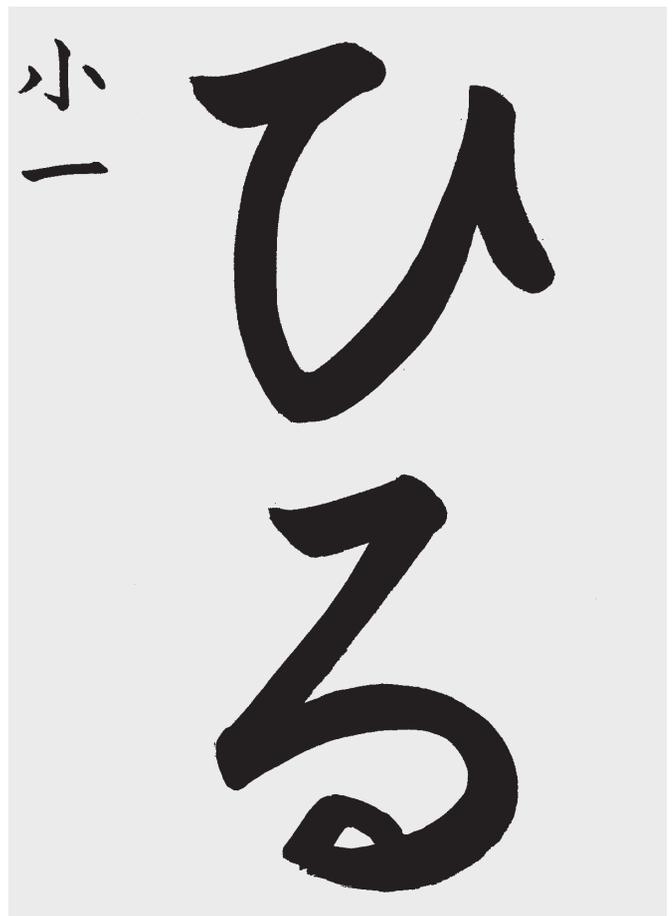
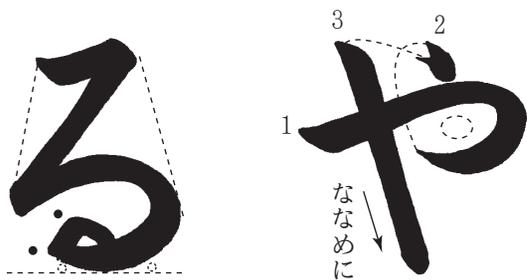
◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年
酒井智仔書



紙画用
小五

る食べ
小三

画

食

用

お

紙

祭

りお祭
小四

小三〜小五年

水野碧友書

中二三
 箇 矛
 所 盾

小六
 記 注
 事 目

小六〜中二・三年
 玉樹小華書

気

記

盾

事

箇

換

中
 換 室
 気 内

第119回 硬筆検定試験受験要項

11月24日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十一月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題(小一から)⑤小論文⑥書歴(初回のみ)。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を十二月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和二年十一月二十四日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和三年二月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

一般部三段コースまで(規定・かな) …… 一、二〇〇円

規定 …… 一、四〇〇円

はがき・かな …… 二、〇〇〇円

教育部 …… 八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
				楷書	行書	草書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	下掲課題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,100

▶かな……田中貴光書

▶規定……奥村憲照先生書

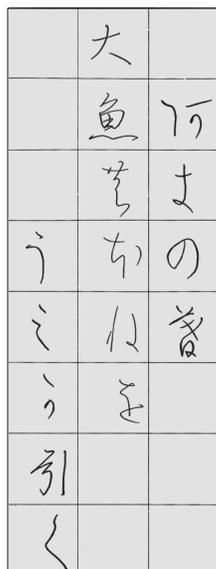
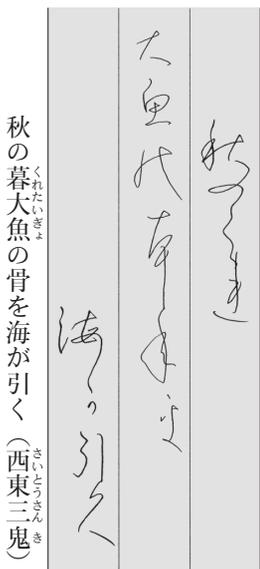
課題(ロ)
段位用紙

課題(イ)
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行書》
段位用紙

《楷書》
段位用紙



◎1級コースは級位(マス目)用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

コース	課題	受験資格	最高昇級段位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
					楷書	行書	草書				
一般部	書範コース	・有段者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	3,000
	教範コース	・書範 ・支局・支部長	教範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,200
教育部	普通コース			11月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由						1	420
	会友コース	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生		11月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) ※筆記具は自由						2	740

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すでに
単位を取得されていても、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

規定

両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

博愛を

実践するには

最大の勇気が必要

かな

▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

小倉山ふもとの野べの花すすき

ほのかにみゆる秋の夕暮(新古今和歌集)

はがき

両コース共通

秋もようやく深くなり、山村にも
また格別の趣があります。燃える
ような紅葉の色、溪流のひびき、
この静かな山にご家族でおいでに
なりませんか。家内も料理の腕を
振るってお待ちしております。

(はがき用紙使用)

教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚

用具＝えんぴつ

小 1	森	に	か	こ
小	ま	れ	た	町

用具＝えんぴつ

小 3	よ	わ	行
小	く	せ	進
小	歩	て	曲
小	いた	元	に
小	た	気	合

用具＝鉛筆以外

小 4	新	し	い	車
小	の	試	運	転

用具＝鉛筆以外

中 3	抜	は	幼
中	な	奔	い
中	も	放	日
中	の	で	の
中	だ	奇	夢

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題 教範コースのみ

▼題名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にまとめるとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

▼十一月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計一枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

注	な	点
意	り	や
し	を	線
よ	特	の
う	に	連

(行書)

第79回 毛筆検定試験受験要項

12月18日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和二年十二月十八日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和三年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

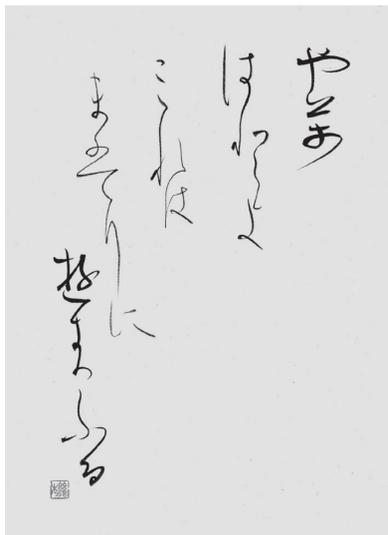
漢字半紙	一、二〇〇円
細字・かな	一、八〇〇円
漢字半紙	一、四〇〇円
細字幅	三、八〇〇円
細字	二、〇〇〇円
教育部	九〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	22ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,100

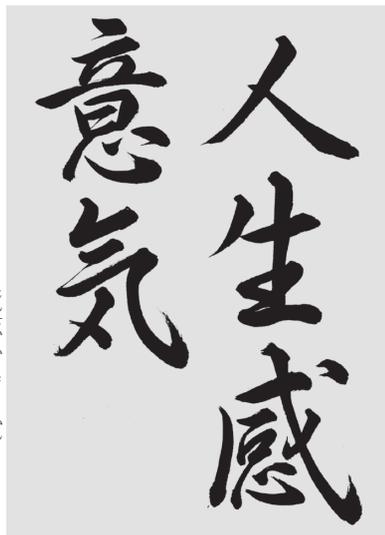
〔1級コース課題〕

《かな》



浅井機山先生書

《行書》



須田一葉書

《楷書》



コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教育部	普通コース	—	12月しめきりの月例競書課題									1	420
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり受験有資格者に限ります。
- 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されていても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
- 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

五段・書範・教範コース課題

漢字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑



以貫之但否泰

▼集字聖教序



未足比其清華

▼書譜



子敬嘗作佳書

かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎落葉して庭は冬木(おちばはふゆぎのこがらしの)のこがらしの
夜もすがらなる月明りかな(おたの水穂) (太田水穂)

※22頁参照

条幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

ちくていそうかくれんむなしくまき
竹亭草閣簾虚捲
じゅしょううんべんかげたちまちとぶ
樹杪雲辺影乍飛

細字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いて下さい。

早くも師走の半ばとなりました
一年が過ぎるのはあっという間
ですね 今度の師範試験に向けて
着々と準備を進めています

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

小 1 あさ
小 6 快車

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

会友コース課題

活動

(行書)

▼十二月締切りの自分の学年の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじて出品のこと。

◆毛筆検定試験三段コース課題

《孔子廟堂碑》

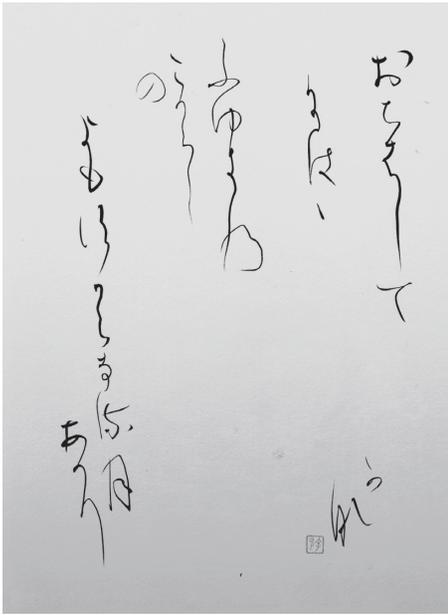
神谷葵水先生臨

雨知來
藏往一

雨知來藏往一

《かな》

浅井機山先生書



落葉して庭は冬木のこがらしの
夜もすがらなる月明りかな (太田水穂)

《集字聖教序》

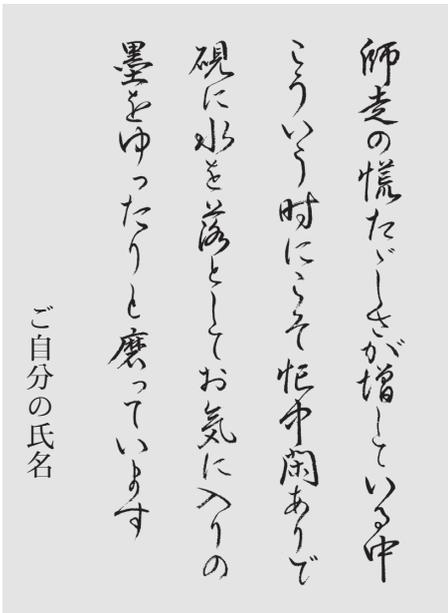
神谷葵水先生臨

之行松
風水月

之行松風水月

《細字》

伊藤梅香書



※かな・細字課題は十二月の月例課題を兼ねます。

ご自分の氏名

教育部12月締切り分課題予告 (・印は級位課題)

中2・3	中 1	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	小 1	幼 年	
活動の拠点を日本から海外へ移す (楷書)	彼は前人未到の快挙を打ち立てた (楷書)	作文の誤字を正しく直し提出する	夕飯前に飼い犬の散歩に出かけた	図書室で花言葉を調べて覚えます	畑の里いもを箱につめ市場へ出荷	早口ことばを五回声に出して言う	なべのごはんを	てあらい	硬筆
活動 拠点 (楷書)	前人 未到 (楷書)	作文 提出	犬の 散歩	花言 葉	も 里い	早口	なべ	せ	毛筆

お詫びと訂正

本誌9月号、10月号掲載の『恵那市美術展』の募集要項の中で、搬入日が「10月10日(土)」とあるのは誤りで、正しくは「10月17日(土)」です。
深くお詫びし訂正させていただきます。